

水晶岳 山行報告

(山城) 北アルプス

(コース) 新穂高温泉～鏡平～双六岳～三俣蓮華岳～水晶岳～鷲羽岳～鏡平～新穂高温泉

(日時) H27年 7/20 (月) ～ 7/25 (土)

(参加者) C L 鈴木憲二 鈴木愛子 (記録)

(山行タイム)

7/20 (月) 千葉→新穂高温泉 (車中泊)

7/21 (火) 新穂高温泉 5:15～鏡池 10:43～鏡平山荘 11:00 (泊)

7/22 (水) 鏡平山荘 5:30～双六小屋 7:45 着 8:05 発～双六岳 9:25 着 9:45 発～三俣山荘 12:20 (泊)

7/23 (木) 嵐の為、水晶岳を登り、高天ヶ原山荘へ行く予定であったが中止、一日停滞 三俣山荘 (泊)

7/24 (金) 三俣山荘 5:00～黒部源流 6:00～岩苔乗越～水晶小屋 7:35 着 7:45 発～水晶岳 8:25 着
8:35 発～水晶小屋 9:10 着 9:45 発～鷲羽岳 11:15 着 11:30 発～三俣山荘 12:20 着
12:55 発～双六小屋 15:30 着 (泊)

7/25 (土) 双六小屋 5:50～弓折岳への分岐 7:05 着 7:20 発～鏡平山荘～新穂高温泉 12:20 着
ひがくの湯で汗を流し帰葉

(記録)

7/21 (火) 天気 晴れ 後 曇り ガス深し

今日の行程は鏡平山荘まで。双六小屋まで行けそうであったが、先の予定を考え、小さな小屋で大混雑が予想される水晶小屋に泊まりたくないの、今日の宿泊を鏡平山荘とした。

鏡池まで雪渓を2回歩いた。ずーっと穂高連峰、乗鞍岳、焼岳が見えたり、隠れたりし、励まされて登る。鏡池で槍・穂高連峰がよく見えた。が、風があり、池が波立っていて、逆さ槍ヶ岳の写真は撮れず、残念であった。



鏡池と槍ヶ岳



鏡平山荘までの間に見えた穂高連峰

7/22 (水) 天気 曇り 後 雨 風強し ガス深し

午前中、槍穂高は中腹から下しか見えなかった。一瞬、西穂、ジャンダルム、奥穂が見えたが、すぐガスの中に消えた。が、鷲羽岳、水晶岳はけっこう長い時間見えていた。鷲羽は本当に鷲が羽を広げている様で、でんとしていかっこ良かった。鷲羽岳の奥に水晶岳が黒くそびえていた。またの名を黒岳という事がよく分かった。



水晶岳と鷲羽岳



鏡平山荘前のチングルマ



双六小屋へ向かう稜線のイワカガミ



双六岳頂上にて



双六岳から三俣蓮華岳への稜線のタテヤマリンドウ



鷲羽岳と双六小屋

弓折岳への分岐から双六岳、そこから三俣山荘までは、ガスが深く山々は見えなかったが、高山植物が沢山咲いていた。まさに百花繚乱、今を盛りと沢山の種類の花が咲いていて、花達に元気をもらい、歩を進めた。良い時期に来たなと思ひ、嬉しかった。晴れていればもっと良かったのだが…。

双六岳の頂上で、周りの山は見えないのに、一瞬、富山湾が見えた。
三俣山荘まで雪渓を3回歩いた。雪渓歩きも面白かった。
三俣蓮華岳で雨が本降りとなり、カッパを着る。

7/23 (木) 天気 雨 風とても強し

昨日の午後から夜、大嵐。朝になっても雨風は弱まらない。今日は水晶岳を登って高天ヶ原山荘まで行く予定であったが、中止した。停滞し、三俣山荘にもう1泊した。
山荘の本を見たり、同じく停滞した人達と話をしたりして過ごした。

7/24 (金) 天気 雨 後 曇り 後 晴れ

リュックの荷物を軽くして、水晶岳を目指したく、着替えなど不必要な物を三俣山荘に預ける。
朝5時、雨の中、出発。(朝食は弁当にしてもらった)昨日より雨風が少し弱まり良かった。
黒部源流～岩苔乗越～ワリモ北分岐～水晶岳を目指す。登山道は雨で川の様であった。3、4回徒渉したが、増水していて、靴の中まで水が入ってしまった。徒渉が終わると雪渓歩き、これがけっこう長かった。
このコースも高山植物が沢山咲いていて、励まされた。水晶岳頂上の少し手前の斜面に、チングルマに似た花のチョウノスケソウが咲いている所があった。チングルマとは葉が違う。昨日まで歩いてきたコースには咲いていなかった。ここへ来て初めて見、会えて嬉しかった。可憐で可愛い花なのに、何故その様な名前をつけたのだろうと思いつつ、見とれた。
岩苔乗越から先は、雨風が強くなり、冷たく寒かった。低体温症にならない様に、カッパのポケットにチョコ、飴を入れておき、休憩の度に口にした。
水晶岳頂上は雨、深いガスの中で何も見えなく残念であった。下山し、水晶小屋で飲んだホットミルクが身体を温めてくれ、美味しかった。
帰り道はワリモ岳、鷲羽岳を登り、三俣山荘に向かった。鷲羽岳頂上の手前より時々晴れてきた。燕岳、大天井岳、雲の平などは見えたのに槍穂高は見えなかった。
三俣山荘で預けた荷物をリュックに入れ、休憩して 12:55 出発。三俣蓮華岳から双六小屋までは、巻き道ルートを歩いた。けっこう雪が残っていて何度も雪渓を歩いた。巻き道が終わる所(分岐の所)に「残雪が多く危険なので、軽アイゼンなしの人は中道ルートをとってください」の看板があった。それでもアイゼン無しで歩けた。中道コースも沢山の高山植物が咲いていて綺麗であった。



双六小屋への巻道コースのコバイケイソウ



鷲羽岳頂上にて



水晶岳頂上にて



水晶岳斜面のチョウノスケソウ

7/25 (土) 天気 快晴

今までで一番良い天気。双六小屋より鏡平～新穂高温泉を目指して歩く。

振り返ると、水晶・鷲羽がかっこ良くそびえていた。薬師岳、雲の平、笠ヶ岳、白山、乗鞍岳、抜戸岳、御岳山、穂高連峰等々がよく見え、暑かったが気持ちよく歩けた。鏡平の池では湖面が風もなく、波うっていなかったのので、逆さ槍ヶ岳の写真を撮ることができた。

新穂高温泉着 12:20 ひがくの湯で汗を流し、帰葉。



かがみ池での逆さ槍ヶ岳

今回の山旅を終えて

念願の水晶岳に登る事ができ、嬉しかった。

25年前、ブナ立て尾根から烏帽子岳、野口五郎岳、水晶岳に登ろうとして、嵐にあい、水晶岳だけ登れず、退却した。今回も雨。水晶岳には、つきがない。

持病のリウマチの事を考えると、今度いつ登れるか分からないし、今回どうしても登りたかった。幸い、前日より雨風が少し弱まっていて、頂上に立つ事が出来、何も見えなかったけど、チョウノスケソウにも会え、喜びもひとしおである。

これで 100 名山踏破まで、あと 2 山である。(幌尻岳、羅臼岳) 8月に登る予定である。登れますように。

※鏡平山荘、双六小屋、三俣山荘、ともに小屋代が労山カード提示で500円割り引いてくれた。
上記の小屋に宿泊の時は労山カードを持参すると良いですね。